

TOMAS CUP 2025 第 40 回大会 東京都区部バスケットボール U12 大会

大会ローカルルール

2025/10/18

東京都区部ミニバスケットボール U12 連盟

審判委員会

第 40 回 TOMAS CUP 東京都区部バスケットボール U12 大会（以降、区部大会と記載）は、JBA の「バスケットボール競技規則」、「ミニバスケットボール競技規則」および「ユニフォーム規則」を基本として、区部大会ローカルルールを採用します。

参考資料：[JBA 競技規則・関連規程等](#)

ミニバスケットボール競技規則と区部大会ローカルルールとの違いは以下の通りです。（変更箇所は、太字・下線で記載）

ただし、コートについては、会場の事情により変更となる場合は、会場責任者の判断を優先します。

	ミニバスケットボール競技規則	区部大会ローカルルール
コート	（競技規則を参照）	<u>会場のコートを 3 ポイントライン含めそのまま採用</u> し、フリースローラインのみミニバスケットボール競技規則の通りボードの正面から 4.00m とする
リングの高さ	2.60m	2.60m <u>最終日（12/14）のみ、3.05m</u>
スコアシート	ミニバスケットボールオフィシャルスコアシート（A4） スリーポイントは採用しない	<u>区部大会スコアシート（B4）</u> <u>スリーポイントを採用する</u> <u>フィールドゴールで 3 点が認められたときは、</u> <u>得点したプレーヤーの番号を○で囲む</u>
ユニフォーム	（競技規則を参照）	<u>ユニフォームを基本とし、ユニフォーム枚数が足りない場合はビブスの着用可（ただしユニフォームの色とできるだけ合わせること）</u>
T シャツの着用	いかなるスタイルでも認めない	<u>白色のみ認める</u>
その他身に着けるもの	同じチームの全てのプレーヤーの腕や脚のアンダーシャツやアンダーショーツを含むコンプレッションウェア、ヘッドギア、リストバンド、ヘッドバンド、テーピングは全て同じ単色でなければならない	同じチームの全てのプレーヤーの腕や脚のアンダーシャツやアンダーショーツを含むコンプレッションウェア、ヘッドギア、リストバンド、ヘッドバンド、テーピングは <u>全て同じ単色でなくてもよい</u>
ソックス規定	（ソックス規定を参照のこと）	<u>ソックス規定は適用しない</u>

（次ページに続く）

	ミニバスケットボール競技規則	区部大会ローカルルール
得点：ゴールによる得点	スリーポイントゴールエリアの規定は適用しない	<u>スリーポイントゴールエリアから放たれたゴールは3点</u>
ゴールテンディング	ディフェンスのプレーヤーがバイオレーションをした場合、オフェンスのチームに以下の得点が与えられる (中略) スリーポイントゴールエリアの規定は適用しない	ディフェンスのプレーヤーがバイオレーションをした場合、オフェンスのチームに以下の得点が与えられる (中略) <u>スリーポイントゴールエリアから放たれたゴールは3点</u>
フリースロー	フリースローのときにリバウンドの位置を占めないプレーヤーは、フリースローが終わるまでフリースローレーンより後方（フリースローラインの延長上から1.80m以上後方）にいないなければならない。スリーポイントラインの規定は適用しない	同左 (ミニバスケットボール競技規則の規定通り)
パーソナルファール	ショット動作中にファールされたプレーヤーに以下の通りフリースローが与えられる (中略) スリーポイントゴールエリアの規定は適用しない	ショット動作中にファールされたプレーヤーに以下の通りフリースローが与えられる (中略) <u>そのショットがスリーポイントゴールエリアからのショットで不成功だったときは、3本のフリースローが与えられる</u>
アンスポーツマンライクファール	ショット動作中にファールされたプレーヤーに以下の通りフリースローが与えられる (中略) スリーポイントゴールエリアの規定は適用しない	ショット動作中にファールされたプレーヤーに以下の通りフリースローが与えられる (中略) <u>そのショットがスリーポイントゴールエリアからのショットで不成功だったときは、3本のフリースローが与えられる</u>